

# 慢性疼痛の脳科学を臨床に活かす

日時：令和2年2月11日火曜日 14:00~17:30

会場：JPタワー名古屋5階  
名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

住所：名古屋市中村区名駅一丁目1番1号

アクセス：JR名古屋駅直結



慢性疼痛は我が国の成人の15-40%にみられ、社会的損失が大きい疾患として知られています。また慢性疼痛の治療に際しては、心理社会的要因を考慮した集学的治療が必要であり、脳科学との深いつながりがあることが明らかになっています。

14:00~ 開会の挨拶 名古屋市立大学 学長 郡 健二郎

14:10~ 講演1 慢性疼痛へのアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT)  
名古屋市立大学大学院 精神・認知・行動医学 臨床心理士 酒井 美枝

14:40~ 講演2 基礎脳科学から目指す慢性疼痛のトランスレーション研究  
東京慈恵会医科大学 神経科学研究部/痛み脳科学センター 加藤 総夫  
—休憩—

15:50~ パネルディスカッション  
進行：名古屋市立大学病院 いたみセンター長 杉浦 健之  
パネリスト：東京慈恵会医科大学 神経科学研究部/痛み脳科学センター 加藤 総夫  
名古屋市立大学大学院 薬学研究科神経薬理学 准教授 大澤 匡弘  
名古屋市立大学病院 いたみセンター副センター長 近藤 真前  
名古屋市立大学大学院 精神・認知・行動医学 臨床心理士 酒井 美枝  
<<<有識者指定発言予定>>>

17:10~ 閉会の挨拶 名古屋市 病院局長 大原 弘隆

総合司会：名古屋市立大学 麻酔科学・集中治療医学 教授 祖父江 和哉

**入場無料**  
**定員70名**  
事前予約制  
先着順

医師、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床心理士など慢性疼痛診療に関心のあるすべての医療人・医療系学生を対象としています。参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先を事務局までお送りください。

メール: [manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:manseit@sec.nagoya-cu.ac.jp)